

1. 活動状況

団体名	社団法人北海道建築士会 十勝支部
対象事業	福祉環境整備
事業名	石井ちゃんとトークでユニバーサルデザイン
事業目的	一般市民を対象としたユニバーサルデザインの啓蒙活動
実施期間	平成 15 年 6 月 28 日 (土)
実施活動内容	<p>1. メインイベント 石井ちゃんによるトークショー&UD体験会 2. UD体験コーナー 3. UDグッズ展示コーナー 4. 建築士会十勝支部青年部のUD取り組みのパネル展示 5. 青年部&地域商店街による模擬店</p> <p>平成 12 年、帯広市がユニバーサル都市宣言をしたのを受け、北海道建築士会十勝支部では、ユニバーサルデザインの普及と啓蒙をすべく現在まで色々な取り組みをしてまいりました。今回のイベントは広く一般市民を対象とし、北海道文化放送 (UHB) で放送されているUDキャンペーン番組「石井ちゃんとゆく！」でおなじみの「石井ちゃん」こと石井雅子さんを招いて、番組の一部をVTRにて見ていただき、裏話とともに実際会場に来ているお客さんにUDの体験をしていただきました。今日では多くの一般市民にもユニバーサルデザインという言葉が定着しておりますが、いまだバリアフリーとの明解な差とその本質的な部分の理解が得られているとは言えなかったのですが、今回の普及、啓蒙イベントを通じ、そのUDとは何なのか、帯広市が目指しているものは何なのかというものが少しでも理解していただけたと思う。</p>
今後の課題 将来計画等	<p>今回のイベントでは地域商店街の協力を頂き、街中広場で開催をいたしました。一見違う取組みのように見える両者ですが、広く帯広の展望を考えるうえで、まちづくり、地域づくりの一旦として、違う観点のコラボレーションが上手くかみ合ったように思えます。今後かたちを変えながらも、まちなか定住や高齢者問題とともに、UD都市を目指すうえで両者の啓蒙活動を継続していく必要があると思います。</p>

(社) 北海道建築士会 十勝支部

—まちづくり奨励制度 助成対象事業—

「建築士の日」事業

『石井ちゃんとゆく！トーク DE
ユニバーサルデザイン』

(社) 北海道建築士会十勝支部
青年部長 神田 光英

平成12年、帯広市がユニバーサル都市宣言をしたのを受け、北海道建築士会十勝支部では、ユニバーサルデザインの普及と啓蒙をすべく現在まで色々な取り組みをしてまいりました。今日では多くの一般市民にもユニバーサルデザインという言葉が定着しております。しかし、いまだバリアフリーとの明解な差とその本質的な部分の理解が得られているとは言えず、一般市民を対象とした、普及・啓蒙イベントを通じ、帯広市が真のユニバーサルデザイン都市となれるよう活動するものであります。また、この活動が帯広市中心部のまちづくり活動の一端を担うものとなるように考えました。



北海道文化放送（UHB）で放送されている、UDキャンペーン番組「石井ちゃんとゆく！」では、約4年前からUDの普及・啓蒙を目的として、道内各地取材しており、また「心のUD」をメディアを通じ訴えております。取材の中にはUDグッズ等だけではなく、多目的トイレや各施設の事例を交え

た放送もあり、我々建築士の立場として取り組んでいるUDとの接点も深いものと思いました。そこで我々は、「建築士の日の事業」としてこの企画を思案いたしました。番組のメインである「石井ちゃん」こと石井雅子さんを招いて、番組の一部をVTRにて見ていただき、裏話とともに実際会場に来ているお客さんにUDの体験をしていただきました。最後は番組趣旨でもある「モノや建物だけじゃなく、人の心もUDになれば、街がみんなにとってやさしくなれる！」を熱く語っていただきました。会場が一体となり誰もが真剣に参加していました。



その他会場では、UD体験コーナーとして高齢者体験グッズ、車椅子等を用いて、会場内や会場周辺の歩道、帯広駅等を歩いて、一般市民にUDを体験してもらい、「帯広のまちは皆にやさしいのか」検証していただきました。UDグッズ展示コーナーとしてUDを理解するのにもっともわかりやすいのは、身近にある商品と思われ、世の中に溢れているUD関連商品から、専門商品までを展示しました。特に商品化となっています、地場企業によるUDガーデニンググッズには実際に会場に来ている方に体験してもらい、興味をもっていただけました。

メインゲートにはUD取り組みのパネル展示コーナーを設け、建築士会十勝支部青年部が今まで取り組んできた「UD体験会」の様子やUDをテーマとした「総合学習制度への取り組み」を中心としたパネル、会員の建築作品パネルの展示を行いました。

また、青年部としては初の試みとして模擬店なるものを来店させていただきました。この日は天候にも恵まれ、子供達にも大人気で大忙しだった事をつい最近のように思い出します。手作りの設営、手作

りの運営、そして子供からお年寄りまで幅広い方々に来場し楽しんでいただけた、まさにユニバーサル一色の日であり、大成功に終わりました。

北海道建築士会の活動奨励金の助成を受け、このような素晴らしいイベントが開催できた事を感謝申し上げます。又この事業が後の青年部活動を飛躍させた原動力となったのではないかと思います。



それから3年近い月日が経ちましたが、その間、全国大会での地域実践活動の発表、イベント、フォーラム等たくさんの事業がありました。その中でもUDの啓蒙・普及のひとつの手段として、教育の現場に足を踏み入れたことが新たな事業の始まりでした。それが我々の今一番力を注いでいる「総合学習への参加」です。小中学校の子供達に、本当のユニバーサルデザインとはどういったものなのか、何が大切なのか、言葉では表現しづらい「人を思いやる大切さ」を体験学習を介して学んでもらっています。その他、バリエーションとしては、「構造力学」の重要性を、模型製作・破壊実験をして感じてもらっています。何れも学校関係者の方からは、高い評価を頂いております。またイベントで協力いただいた「石井ちゃん」が、ある帯広の中学校卒業という関係もあり、一緒に授業に参加していただきました。その様子はメディアでも取り上げていただき放映もされ話題を呼びました。どの事業をとっても、回を重ねる毎に我々も気づき、悩み、励まされ進歩していると思います。今後も次代を担う子供達の為、又会員個々のスキルアップの為、活動を継続していきたいと考えています。最後に来年の9月には、長年の夢であった全国大会が、十勝「帯広」で開催されます。北海道の元気・活気を全国に発信しましょう！